

最新売れ筋BEST本

☆印は初登場!!

2002.6.1~6.30

TTCネットワーク月間データ

(学参を除く小社全書籍の売れ筋)

書名	著者名	本体	配本日	前月順
★1 「おじさん」的思考	内田 樹	1900円	02.3.29	1
2 ケアマネジャー基本問題集 '02 (上)	介護支援研究会	1600円	02.4.26	2
3 ケアマネジャー基本問題集 '02 (下)	介護支援研究会	1600円	02.4.26	3
4 普及版 数の悪魔	エンツェンスベルガー	1600円	00.8.23	4
☆ 5 未来におきたいものは	鶴見 俊輔対談集	2800円	02.5.30	New
☆ 6 がんと向き合って	上野 創	1400円	02.6.28	New
7 食卓の力	山本 ふみこ	1400円	02.4.25	5
8 考える練習をしよう	バーンズ	1650円	85.3月	7
9 であればムかつかに生きたい	田口ランディ	1400円	00.10.11	8
☆ 10 仕事ができる人は知っている	小林 薫	1700円	02.5.30	New
☆ 11 ケアマネジャー実戦予想問題 '02	介護支援研究会	2200円	02.5.31	New
12 根をもつこと、翼をもつこと	田口ランディ	1400円	01.10.31	9
☆ 13 被告の女性に関しては	アイルズ	2000円	02.6.12	New
↑ 14 美食進化論	辻 芳樹 木村結子	1600円	02.3.29	26
15 大人になるって何?	鶴見俊輔と中学生たち	1400円	02.4.30	10
16 馬鹿な男ほど愛おしい	田口ランディ	1400円	00.5.31	12
↑ 17 「爆心地」の芸術	榎木 野衣	2800円	02.4.30	6
↑ 18 安住しない私たちの文化	姜 信子	2600円	02.4.23	28
19 大切にしたいものは何?	鶴見俊輔と中学生たち	1400円	01.12.27	19
20 印刷に恋して	松田 哲夫	2600円	01.12.27	15

ブレイク
続行中!
実売ダントツだ!

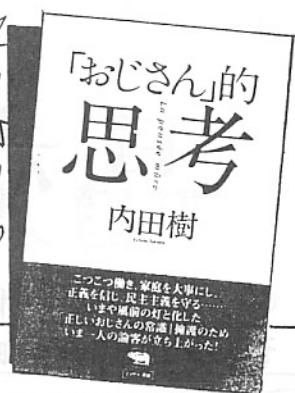
前月に続き
ベスト1です!

7刷重版中!

「おじさん」的思考

うちだにる 内田樹 著 本体1900円 ISBN 4-7949-6530-3

「様々なテーマに真に成熟した大人の知恵を披露——本書に出てこなかったテーマについても著者の意見を聴いてみたいものだ。」
——週刊東洋経済 '02 7/13号より



今から徹底準備! 6月28日(水) 2冊同時

マンション管理士試験
攻略テキスト
攻略問題集'02
日建学院 編著

マンション管理士試験
攻略テキスト
12月8日実施
本試験を徹底的に攻略する
●基本的な考えからアプローチ
●豊富な図表と豊富な解説
●最新の指図とポイントチェック

マンション管理士試験
攻略問題集'02
12月8日実施
本試験を徹底的に攻略する!!
●本試験一問一問の解説と重要なポイントに
リンクした構成によるステップアップ学習
●本試験の正答率データ掲載
●試験まで使える「問題で覚える」問題集

〈シリーズ〉みんなを考へよう

鶴見俊輔と中学生たち

① 大切にしたいものは何?

② きまりって何?

③ 大人になるって何?

学校図書館ほか中学校だけでなく、高校でも採用が増えています。書店さんの外商ご担当様も注目のシリーズです!!

全国の中学、高校で採用続々...!!



(晶文社・1400円)

★鶴見俊輔著「大人になるって何?」(長瀬太松)
中学生の男女13人と哲学者で、しゃべり場をする。「みんなが考えよう」シリーズが、ついに完結! 一人でもなやんでいるときや、よくふかしてるとき、考えるヒントがいろいろ詰まっていた。「人間関係」を繰り返しては、大丈夫、つづいてを教える。『大人になるって何?』と『きまりって何?』の前2冊もぜひ。つづいて、読んで、親や先生に、今年の課題図書として推薦してあげよう。

▲朝日新聞 6/23(日)「今すぐ読みたい!」より

昨年12月1回試験が行われた国家資格「マンション管理士」は、受験者10万人近く集めたが合格率7.4%と非常な難関だった。全国一のノウハウと実績をもつ日建学院の編著でポイントをあさせた
① 効率学習を保証する必携2冊!

晶文社 必携2冊 7~8月

三井ひろみ『動物を看取るということ』
高野洋『色彩検定3級 わかる! 問-答』
坪内祐三『後ろ向きで「前へ進む」』
細川希子『ソムリエという仕事』(仮)
欠田誠『マネキン 美しい人体の物語』
村木与四郎『黒澤映画の美術監督が見た街角』
長田弘『本のお話しよう』

麺食いシマダの
この店に行け!

★ヤングアダルト出版会の地方研修は毎年、7月の第1週と決まっている。今年は島根・島根の書店さんならびに県SLAの先生方、および県内公共図書館の司書さんとの研修である。ほんとうにたくさんの皆様にお世話いただいたが特筆すべきは、(株)今井書店グループ、今井社長はじめ20数名の幹部社員らのヤおしいばかりの熱情であった。全国にその名をのびる「本の学校・緑陰シマダ」の主催者たる姿勢、あたりまえのように本にたいするひたむきさ、日本「本」を愛する書店人たらしめる想い、それらの心算をしても敬服に値するものばかりである。もしもその思いを

行け!...という
行きたかった...
ラーメンに持てたら必ず
名店になるだろう...「今井
書店学園通り店」の入り口左
わきにある「活カラーメン

花さか」が「帰京した今でもひょうに気になっている。書店さんに訪れた時間が11時半にもかかわらず、教えられた時間が「次なる店に移動する5分前」じゃなかったら、人目でも飛びこんでいたに違いない。教えていた「新センター店準備室」原主任の「ちょっとヘビーですけど、旨いですよ」の言葉と、決まろうそつきそうにない人柄を絶対に信じる。向かい側にはいかにもそれ風の並みのラーメン店があるが、眼中にない。そしてふいに「花さか」からあふれるスープの香りが「胃を最大限刺激する。トンコツスープである。しかし、某有名店のそれとは違い、強すぎず」

まろやかで、たぶん目の前に出されたらすべし飲んではもうだろう。このスープに合う麺は、博多の極細ストレートよりも中太ややちぢれ麺が「良し」そう。そして、1.5玉のボリュームたっぷりだった。チャーシューは大きめで、厚めに切られている。テーブルに置かれた「紅シヨウガ」と高菜をたっぷり取りニンニクも入れたけ入れよう。さあ、食すのだ! —
しかし、想像だけではいけません。今度松江を訪れるときは、真っ先に「花さか」へ行こう! と思う。
(今回は幻の「この店へ行け!」で値段・席数・店主の風貌筆々書けませんでした。すみません。)(営業部・島田孝久)